

さらに深める
各委員による

決算審査



代表質問終了後、各決算について、細かく質疑を通して審査が行われました。果たして、令和2年度予算は市民の皆さんのために使われたのか？

暮らす 創る 生活・まちづくり

法人市民税の税率改正と感染症の影響

市民税（法人）
7億9351万円

問 令和元年10月の税率改正により、12・1%から8・4%の減率となったが、法人市民税の税率改正、新型コロナウイルス感染症による影響額はどうか。

答 税率改正による影響額は、前年比1億4800万円の減、新型コロナウイルス感染症による影響額は、1億8600万円の減となっている。

ヒヤリ・ハットが多い場所。早期改良を

新生町佐渡線交差点改良事業
22万円

問 この事業の内容と進捗状況はどうなっているか。

答 新幹線側道の交差点2か所に右折レーンを設け、東郵便局付近の見通しが悪い交差点は、側溝に蓋とグリーンベルトを設ける工事である。新幹線側道の交差点は、令和4年度に工事を実施し完成を目指す。郵便局付近の交差点は、今年度、拡幅工事を予定している。

タイムリーな情報発信が強化
広報広聴費
4536万円

問 令和2年10月から燕市公式LINEの配信が開始されたが、現状どのような効果が出ているのか。

答 感染症・ワクチン接種の情報、燕市のホームページ上ではアクセスしづらく、LINEで通知を入れることで補うことができた。また、健康診査やマイナンバー出張申請受付などの情報を配信すると、予約が増えるという効果があった。（写真A）

学ぶ 育てる 子育て・教育

必要な人が参加しやすい形式や内容に

母子保健衛生事業
7444万円

問 ハッピーベビークラブの開催形式や内容の変更による、参加者からの意見は。また、パートナーの参加は。

答 毎月1回完結型に変え、内容も濃くなり、満足いただいた方が多かった印象。毎月土曜日開催のため、夫婦で参加しやすくなったという声もあり、ほぼパートナーの方と一緒に参加している状況である。



A 日々変化する情報をタイムリーに発信。現在約7400人が登録している。



子供を守るため基本的な対策を徹底

保育園費
35億8061万円

問 コロナ禍での3密の解消は、国基準などからも非常に困難であるが、感染対策はどのように行っているのか。

答 換気の徹底のほか、保育園などでは午睡を原則クラス単位にしたり、手洗いの徹底、おもちゃの消毒をしたり、食事は保育士等が園児と一緒に食事を取らないなど工夫している。(写真B)



国より早くスタート。貸与型の燕

奨学金貸付事業
1億3063万円

問 就学支援金貸付金、当初500人で5000万円の予算だったが実績は50人。この評価は。

答 募集直後、国の学生支援緊急給付金が始まり、申請が少なかったと感じている。市では、いち早く貸与型の就学援助金を打ち出し、一定の条件で返還金免除になる制度を示した。燕市の学生にとって心強いものであり、事業の効果はあったと考えている。



B「お願い、お願い、カメさん、カメさん〜♪」子供たちがしっかり手を洗えるように歌を歌いながら。

高める 守る

健康・福祉



コロナ禍での受診控えが顕著に

健康増進事業
9579万円

問 コロナ禍で予算が膨らんでいる中、唯一減っている。予約制に変えて健診を行ったが、令和2年度の健診率の数字を見て、どういう考えを持っているのか。

答 新型コロナへの不安による受診控えもあったかもしれないし、予約制にやり方を変えたことによる混乱もあり、受診者数が5、6割減ったと捉えている。(写真C)



障がいはいは誰にとっても身近なもの

精神障がい者福祉事業
3112万円

問 精神障害者保健福祉手帳の所持者数と、その受け止めについて。

答 手帳の所持者数は、平成30年度末で545人、令和元



C健康診断の目的は、早期発見・早期治療。コロナ禍であってもとても大切なもの。

働く 魅く 産業・観光



燕の技術で新型コロナウイルスの課題克服目指す

新商品新技術開発支援事業
3577万円

問 令和2年度の実績では、通常枠と特別枠に区分されているが、特別枠とは具体的にどういうものか。

答 特別枠は新型コロナウイルス感染症の課題解決につながる研究開発の促進と、それに伴う販路開拓に取り組む事業への支援となる。販路開拓としては7件の実績があった。(写真D)



ここでも響く。人材不足というハードル

オンライン営業推進支援事業
1億2826万円

問 HPを持たない中小零細事業者への支援の課題は。コスト面や情報通信分野における人材不足が課題で、導入に踏み込めないケースが見られる。市の補助金を活用しても

答 中々たり、情報通信分野が苦手な中小零細事業者には、比較的成本や人材をあげずに取り組める方法を紹介するなどしていきたい。



図書館に行かずとも本が読める幸せ

電子図書館導入事業
473万円

問 県内初の事業としてスタートしたが、利用状況と一番多く利用している年代は。

答 2月2日から、スタートした当初は約970冊で、今年2、3月の2か月で約3600冊貸し出している。現在は、大



F電子図書館は24時間利用可能。読書の秋を楽しんでみては。

磨く 輝く スポーツ・文化

年度末で、589人、2年度末が595人と増加傾向となっている。精神疾患患者の毎年の増加や精神障害が身近なものになっていくことなど、様々な要因が重なることにより、今後もしばらくは増加していくと考えている。



D事業を活用し、開発された製品の一部分。
Dアーチェリー用具のハンドルと、その周辺パーツを制作。
Eマスクを衛生的に携帯・収納することができるマスクケース。

討論紹介

●令和2年度燕市一般会計歳入歳出決算

一部の反対意見

①社会教育施設の施設利用料引き上げが実施
利用団体には、安く借りたいのであれば、施設管理に労力を割くことを条件とするなど、社会教育法の趣旨に反する考えのもと昨年度、施設利用料の引き上げを行った。

②人件費などの職員関係費
市では正規職員605人に対して、非正規である会計年度任用職員750人で、非正規職員率が55.4%であり、安定雇用の手本を示していない。

③マイナンバー
国の制度ではあるが、国民を番号で管理するこの制度には反対である。

